



# 1 if design project とは？

あなたの“もし…”が、茨城の未来を変える。

フィールドワーク + 講義 + ワークショップ による実践型デザインプロジェクト

もしも茨城県が、魅力度ランキング全国1位になるならば…  
もしも茨城県が、世界一住みやすいエリアに選ばれるならば…  
そんな夢みたいなことを茨城県は本気で考えています。  
その発端があなたの考えたアイデアからと信じて。

全国都道府県魅力度ランキング7年連続最下位の茨城県と称されていますが、それを払拭するような未来のプロジェクトをあなたならどう描きますか？

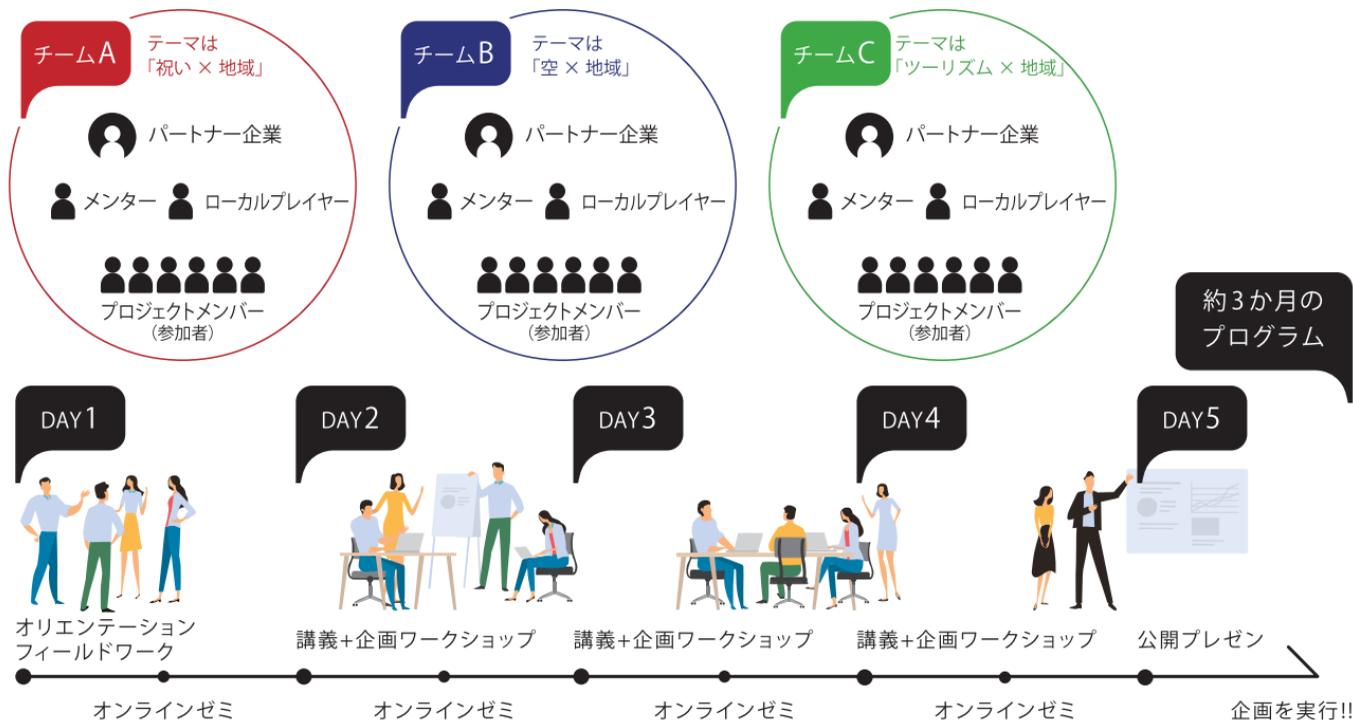
日本を、茨城を、地域を良くしようと活動を続ける様々な地元企業

リアルな課題や茨城の魅力を、フィールドワークを通して学び、異なるバックグラウンドを持つ受講生たちと共に課題解決の企画を行います。

約3ヶ月間、茨城と東京で、「もし」自分たちだったら何をやるか、何ができるかを企画・デザインします。

if design projectは、地方を支える地元企業への、実践的な企画提案を通じて、企画力を育むとともに、一緒に企画・実行する仲間を見つけ、自らの今後の働き方、生き方を問い直すプロジェクトで

プログラムは提案して終わりではなく、その後の地域・企業との関係性が築かれ、自分たちで実行していくことまでを想定しています。



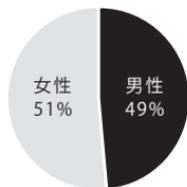
## 2 募集要項・参加者属性(2020年度)

15名の募集をしたところ、**35**名が応募。

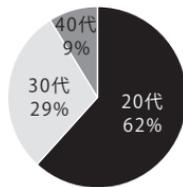
志望動機等を踏まえ、選考により、**18**名のプロジェクトメンバーが参加。

### 応募者の職種

- ・企業の企画営業・コンサルタント
- ・広告代理店勤務
- ・各種ディレクター・デザイナー
- ・看護師
- ・大学生 etc.



応募者の男女比



応募者の年齢構成比

### 募集要項

#### 募集対象

- ・茨城県と関わりたいが、きっかけを探していた方
- ・プロジェクトデザインを体感したい方
- ・普段と異なる社会人とチームを組み共創し、自らの可能性を広げたい方
- ・地方で何かコトを起こし、自らの生き方や働き方を考えてみたい方
- ・自らの経験（デザイン、マーケティング、プロモーション、事業企画、コピーライティング、まちづくりなど）を活かしてみたい方
- ・とにかく茨城が好きで仕方がなく、茨城に貢献したい方、いつか茨城で住む、働いてみたい方

#### 参加条件

- ・熱意とスケジュール通り参加できること

#### 募集人数

- ・15人

#### 参加費用

- ・3万円

### 3 テーマ(2020年度)



「祝い×地域」

茨城から「祝い」の文化を発信  
「祝いごと」を通じた都市と地方の  
新たな関係性をつくる

日常とは異なる特別な瞬間をつくる「祝いごと」。茨城県では、挙式・披露宴1件あたりの売上が全国上位であったり、地域によっては七五三を盛んに祝う文化があったりと、「祝い」が盛んな地域でもある一方、人との繋がりが希薄となり、忙しい現代においては、「お祝い」そのものが少なくなってきたといった課題もあります。

新しい生活様式が求められている今だからこそ、茨城県から「祝う」そのものの行為のデザインをはじめ、新しい商品・サービスづくり等を通し、都市と地方の関係性を踏まえながら、新しい「祝い」の文化をつくっていくことを考えていきます。



「空×地域」

北関東の玄関口、茨城空港  
目的地として愛される  
新しい「茨城の空の玄関口」をつくる

開港 10 周年を迎えた茨城空港。旅客数を着実に伸ばし続けてきた当空港は「地方空港の成功モデル」とも言われています。その一方で、空港が立地する小美玉市は、空港周辺が利用者にとっての通過点でしかなく、周遊や消費活動につながっていないという課題を抱えています。そのため、空港周辺エリアの更なる発展に向け、このエリアの構想づくり等、新たな動きがはじまりつつあります。これらの動きを加速していくため、県内外のヒトやモノを繋ぐ空港がある街にソトモノの視点も織り交ぜ、このエリアが通過点でなく、目的地としても愛される空の玄関口となるための仕組みやコンテンツ、発信方法を考えていきます。



「ツーリズム×地域」

日本で2番目に大きい湖のある街  
県外からも人が訪れる霞ヶ浦ならではの  
最高の体験をつくる

かすみがうら市はナショナルサイクルルートにも指定された「つくば霞ヶ浦りんりんロード」が走る、国内 2 位の大きさを持つ湖のある街です。また、ベッドタウンである本地域では、交流人口の増加により地域経済を循環させていく必要があります。そのような中、地域資源を活用した様々なコンテンツや新たなゲストハウスの開業等、新しい動きも多く見えてきています。

サイクリングをはじめ、幅広い「アウトドア・ツーリズム」を軸とし、本地域の交流・関係人口をより増やしていくため、ここならではの「最高の体験」づくりやその発信方法等について考えていきます。

## 4 各チームを支える講師陣(2020年度)



「祝い × 地域」

山川 咲

YAMAKAWA SAKI

1983年東京生まれ。大学卒業後、ベンチャーの人材コンサルティング会社へ入社。人事新卒採用担当責任者として人事に携わった後、採用系のコンサルタントを務める。5年間勤務した後に退職し、オーストラリアへの一人旅を経て、帰国後の2012年7月に株式会社CRAZYを創業。完全オーダーメイドウェディングのブランド「CRAZY WEDDING」を立ち上げ、1年足らずで人気ブランドへと成長させる。2016年に「CRAZY WEDDING」の代表の座を退き、現在は起業家として新たな世界に挑んでいる。2016年5月に毎日放送「情熱大陸」に出演。著書に『幸せをつくるシゴト』（講談社）。



「空 × 地域」

古田 秘馬

FURUTA HIMAYA

プロジェクトデザイナー。株式会社『umari』代表。東京都生まれ。慶應義塾大学中退。東京・丸の内「丸の内朝大学」などの数多くの地域プロデュース・企業ブランディングなどを手がける。農業実験レストラン「六本木農園」や和食を世界に繋げる「Peace Kitchen プロジェクト」など都市と地域、日本と海外を繋ぐ仕組みづくりを行う。現在は地域や社会的変革の起業に投資をしたり、レストランバスなどを手掛ける高速バス『WILLER 株式会社』やクラウドファンディングサービス『CAMPFIRE』、再生エネルギーの『自然電力株式会社』の顧問などを兼任。



「ツーリズム × 地域」

大瀬良 亮

OSERA RYO

KabuK Style 株式会社 共同代表。1983年、長崎県長崎市生まれ。2002年、長崎県立長崎東高校卒。2007年に筑波大学卒業後、電通入社。2010年、被爆の実相をデジタルマップアーカイブで伝える「Nagasaki Archive」の作品でYahoo!デジタルアワード特別賞受賞。2015年から首相官邸初のソーシャルメディアスタッフとして内閣広報室に出向。2018年6月までの間、3年にわたって首相官邸のSNSの企画・撮影・投稿・管理などを担う。2018年からつくば市役所にてまちづくりアドバイザーとして広報戦略を担当。2018年11月「世界を旅して働く。HafH」リリース。2019年4月サービス開始。2019年9月、電通退社。

# DAY 1 - Fieldwork

メンターから学ぶ



本気の自己紹介プレゼンを聞くメンバー



オンラインフィールドワークの様子



オンラインツールを最大限活用

# DAY 2-4



講義の様子



企画ワークショップの様子





平日夜にメンターとミーティング

休日や平日夜時間を使ったディスカッション



メンター講義の様子



# DAY 5 - Presentation

プレゼンテーションの様子



次のアクションに向けたディスカッション



プレゼン終わりの集合写真



メンターからのフィードバック



@SHAKOBA

## 5 各チームの提案内容(2020年度)

### 祝い × 地域



自分の内面と向き合う  
プログラムを企画

多様な情報や価値観に触れすぎてしまう現代社会。そんな時代の「祝い」の出発点はまずは「自分を愛すること」と定義づけ、自己省察のプログラムを企画。

### 空 × 地域



10分で地域が楽しめる！  
小美玉ファストクラス！

電車のように乗り、滞在する時間が短い茨城空港の特徴を逆手にとり、10分で小美玉や茨城の体験や風土を感じられるコンテンツ「小美玉ファストクラス」を企画。

### ツーリズム × 地域



旅は非日常から日常へ。  
新たなツーリズムは「帰省」から。

コロナ禍を経て、ツーリズムは非日常ではなく、日常を求めるものとなったと定義づけ、霞ヶ浦に帰省するための「実家づくり」プロジェクトを企画。



if design project

茨城未来デザインプロジェクト

[www.if-design-project.jp](http://www.if-design-project.jp)

2020年度 第3期実施

主催：茨城県 企画・運営：株式会社リビタ、茨城移住計画 冊子デザイン：山下大介 (if design project第1期メンバー)